

出張医学教育FD(篠ノ井総合病院)

【日時】 平成26年10月27日(金) 17時45分～ 18時15分

【場所】 篠ノ井総合病院

【参加人数】 40名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

○信州大学における今後の臨床実習

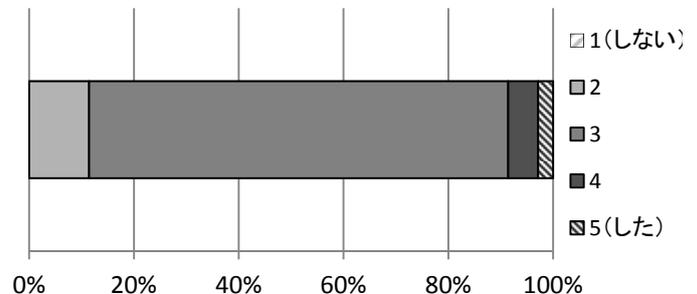
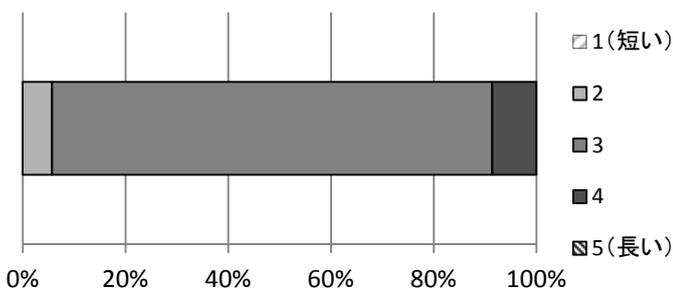
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

○患者の同意と事故補償



FDの開催時間はいかがでしたか。

FDはニーズにマッチしましたか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
必要性。	150通りとは？	ツイッターやフェイスブックに患者情報を載せた学生は、即退学ですよね！！
国際基準に沿った研修制度が必要になっていること。	記録は残した方が良い？	大変わかり易い話でした。
教育はスタッフみんなで行うこと。評価が必要なこと。	本邦の医学教育が欧米より劣っているという理由。欧米に合わせなければならない理由。	学生が診察する際の同意書の素案でも良いので、見せていただけたら良かった。
学生対応の仕方。カルテの扱い。	今後の教育の実際。	訴訟になってほしくないが、静脈穿刺でも数千万の補償を命ずる判決が出ています。医療行為資格のない医学生に穿させて傷害が出た場合、指導医の責任は？保険でどこまでカバーできるのか。具体的に教えてください。
実習中の体制に対する対応・姿勢。同意書の取り方。	学生の実習については元々、ほとんど理解できていません。心臓外科という特殊性もあり、学生との接点も今後あまりないのでは、と考えています。	大学内で各科での統一されたものがあるほど、学外の実習を行いやすいので、よろしくをお願いします。
学生実習が参加型になること。	何をどうすればよいか。	賠償責任が起ると、病院・医師としては厳しいかも。。
国際基準に比べた日本の医学教育のレベル。世界基準。	どこまで学生に診療行為をさせて良いか。医行為の水準。	
信大の臨床実習について。	診療参加型とする際の実習内容がいまひとつわかりづらい。	
卒後すぐに戦力となる医師にしようとする目標。	それぞれの病院での対応。	
信大の実習期間と学外実習について。	現在の臨床実習との兼合いは？	
新しい研修の流れについて。	医学生教育の市中病院における具体的イメージ。	
実習を早期から開始する必要性。		